



2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【福岡県】

学校名【福岡県立糸島高等学校】

1 実践テーマ	I · II · III · IV · V (複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	第1学年・8クラス・320人 保護者・中学生、約1000名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 (文化祭) ③ その他 (ホームルーム活動) (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	本校の教育の基幹であるキャリア教育・国際理解教育の一環として、オリンピック・パラリンピック教育を推進している。オリンピズムやパラリンピックの教育的価値を通して、国際的な視野を持って世界平和に向けて貢献できる人材育成、また、これからの社会に求められる資質・能力を育成するものとする。
5 取組内容	文化祭発表 令和元年6月8日(土)   <p style="text-align: center;">モザイク壁画</p> <p>オリンピックについて語るアトランタ オリンピック柔道銅メダリスト 日下部さん</p>    <p>オリンピックについて、説明する生徒の様子</p>

ホームルーム活動 パラリンピック教育（多様性と共生社会）
令和元年7月22日（月）～26日（金）



聖火ランナーへの応募の様子

6 主な成果

1 文化祭では、オリンピックの歴史や各国の国旗・食文化について、8ブースに分かれて発表を行った。調べ学習において、諸外国の歴史について深く学ぶことが出来た。また、オリンピックへのインタビューや話を聞くことで、スポーツが持つ価値を高めることが出来たと考えられる。特に、負けた試合から学ぶことの大切さ

の講義では、勝つことだけがすべてではないことを学んでくれたと考えられる。

2 パラリンピック教育では、Panasonic の教育プログラムの映像を用いて実施した。東京2020オリ・パラが日本にもたらす、無形のレガシーをテーマに、多様性と国際理解・おもてなしを考える等、よい機会となった。生徒たちは、パラリピアンの限界は人が決めるものではないという言葉に感銘を受けていた。努力することの大切さや、諦めない心など多くのことを学ぶことができた。

本校は、東京2020東京研修において、サッカーを観戦する。是非、スポーツが持つ力を体感してほしい。また全員が、これまでの研修の感想をまとめ、聖火ランナーへの参加応募を行った。

7実践において工夫した点（事業の特色）

東京2020オリンピック研修をテーマに、第1学年が生徒・教員が協力して実践を行った。学年集会等において、オリ・パラ教育に取り組む意義などを丁寧に説明し、同じ価値観で知り組むことができた。また、本校は5年前から福岡マラソンのボランティアに参加しており、競技を支える重要性も理解している。保健体育科の協力も得て、教科横断的な取り組みができたのは大きかった。

8主な課題等

- 1 学校全体が理解を示していること
- 2 組織的な取り組みを行うこと
- 3 各機関とのネットワークを広げること
- 4 生徒、保護者の理解を得ていること
- 5 教育的効果をしっかりと発信すること

9来年度以降の実施予定

これまでの、オリ・パラ研修やこれからのオリンピック研修を通して、目的である、国際的な視野を持って世界平和に向けて貢献できる人材育成、また、これから求められる資質・能力の育成に繋げていきたい。生徒たちは、この研修で貴重な体験を通して、スポーツが持つ力を再認識してくれたと考える。教科横断的な取り組みも視野に入れ継続して取り組みたい。

